

学校評議員及び地域モニターで構成される学校関係者評価委員会による平成28年度学校関係者評価は以下の通りです。

	質問項目
1	<p>学校教育目標や目標達成に向けた学校の実際の取り組み、及び職員の自己評価は適切だと思いますか。改善すべき点等がありましたらご記入ください。</p> <p>(学習指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数、習熟度別講座編成で行き届いた指導がなされ成果をあげている。さらに、個々の生徒の学習意欲や基礎学力を充実してほしい。 ・生徒が今までの自分とこれからの自分を見つめ、自己肯定感を高める指導が実践されている。 ・障がいのあるなしにかかわらず、共に学び支えあって生きていくインクルーシブ教育と、高校生への成長段階にあった性教育の充実をお願いしたい。 <p>(生徒指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が制服をきちんと着こなし、礼儀正しい挨拶ができており、地域住民からの信頼も高まっている。 ・不登校だった生徒が学校生活を送ることができており、今後も中学校・家庭と連携した生徒相談体制の充実をお願いしたい。 ・個別に課題のある生徒はいるが、全体的にはよい生徒が育っており、引き続き粘り強い指導を期待する。 <p>(進路指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携により教育効果は着実に上がっている。今後もキャリア教育を地域と協働して取り組み、自分を見つめ将来の夢を持たせるよう指導してほしい。 ・就職あるいは進学してもすぐにやめるということなく、多少の失敗にもくじけず、あきらめないことで将来が開けてくることを理解させて卒業させてほしい。 <p>(特別活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動、生徒会活動での生徒の活躍する姿が認められる。今後も、地域の中に東御清翔高校の存在感を感じられるような活動を期待したい。 ・多様な活動を取り入れ、生徒たちが自主的に生き生きと活動している。特に体験活動や自己表現活動を重視してほしい。 <p>(特色ある学校づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会は年々内容が充実してきている。 ・多部制単位制の理解が広がっている。その仕組みを生かし、生徒一人一人の個性や能力を伸ばしていけるような指導を期待している。 ・多部制単位制の特色を、中学生のみならず地域に向けて理解していただけるような取組をしてほしい。 <p>(開かれた学校の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次生の総合学習(表現ステージ)では、外部講師による学習が行われ、すばらしい成果をあげていると思う。他にも、放課後等、外部のボランティア講師による補習も考えたらどうか。 ・学校行事等への保護者や市民の参加がもっと多くなっていくことを期待する。地域の高校として東御市との連携を深めてほしい。
2	<p>今後の学校運営の改善策として取り組むべきことは何だとお考えですか。ご意見をお寄せください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高校として、情報発信、交流活動等にさらに力を入れていただきたい。 ・いつか変わりたいと考えている生徒(中学生)が、東御清翔高校で変わることができると感じる。教職員が生徒とともに悩み、考え、深くかかわろうとする姿勢があるからだと思う。今後もその姿勢を大切にほしい。 ・自尊感情を育て、前向きに生きる力を養成することがすべての土台になると思われる。一人の退学者も出さないという強い気持ちと愛情で取り組んでほしい。